

開催日時・場所について

※2024年4月1日より八重洲に移転いたしました、ご来場の際はご注意ください。

2024年8月23日(金) 開催時間: 14:30~17:30 (受付開始: 開始時刻30分前~)

申込期限 銀行振込み: 開催日6日前まで クレジットカード: 開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合がございます

船井総研グループ 東京本社 サステナグローススクエア TOKYO

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲八重洲セントラルタワー35階 [JR/東京メトロ丸の内線「東京」駅 地下直結(八重洲地下街経由)]

※諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

受講料

■ 一般価格(一名様)

税込22,000円(税抜 20,000円)

■ 会員価格(一名様)

税込17,600円(税抜 16,000円)

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みにも適用となります。

講演内容・セミナー講師について

第1講座

変わりゆく保育業界:業務改善がますます求められる背景とは

保育業界の最新の動向を詳しく解説し、なぜ業務改善がこれほど重要になってきたのか、その背景を深掘りします。

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 児玉 梨沙



第2講座

特別ゲスト講座

驚きの事務業務時間30%削減! 社会福祉法人子育ての里福社会の成功事例から学ぶ

この2年間で事務業務時間を驚異の30%削減させた社会福祉法人子育ての里福社会の園田氏と内海氏をお迎えし、具体的な業務改善の成功事例や改善後の効果について、実際の体験談を交えながらお話しいただきます。



社会福祉法人 子育ての里福社会 主任 園田 優子氏



社会福祉法人 子育ての里福社会 副主任 内海 千鶴氏

第3講座

成功事例に学ぶ! 保育園の業務改善の実践ポイント

業務改善の基本的なステップと考え方の他、デジタルツールの活用方法や組織全体での協力体制の構築など、すぐに取り入れられる具体的な方法をお話しします。

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 岩本 一希



第4講座

明日から実践すること

本セミナーのまとめをさせていただきます。

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 児玉 梨沙



保育園



こども園



業務改善事例 大公開 セミナー

▶ 保育の事務業務時間を30%削減! ▶ ノンコンタクトタイムを毎日導入

上記を実現したゲストをお招きし、成功の秘訣・取り組み内容をお話しいただきます!



特別ゲスト 講師01

社会福祉法人 子育ての里福社会 主任 園田 優子氏



特別ゲスト 講師02

社会福祉法人 子育ての里福社会 副主任 内海 千鶴氏

福岡県保育士が働き続けられる 職場環境構築事業モデル園

ゲスト法人の取り組みの詳細はこちら

お申込みはこちらからお願いたします!

スマホ・タブレットで右記のQRコードを読み込んでいただきWeb ページよりお申込みいただけます。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/117155>

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

TEL: 0120-964-000 (平日 9:30 ~ 17:30)

船井総研セミナー事務局 E-mail: seminar271@funaisoken.co.jp

お問い合わせ No. S117155



来場型 セミナー 開催日時

2024年8月23日(金)

開催時間: 14:30~17:30 (受付開始: 開始時刻30分前~)

※満席などで期限前にお申込みを締め切る場合がございます。お早めにお申込みください。

保育園・こども園向け業務改善事例大公開セミナー

お問い合わせ No. S117155

主催



サステナグロースカンパニーをもっと。 Funai Soken

株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に [お問い合わせ No.] を入力してください)

117155



社会福祉法人子育ての里福祉会取材レポート



**社会福祉法人子育ての里福祉会
主任 園田優子 氏**

保育士を経て現在、主任8年目。
福岡県主催「令和4年度職場環境改善実践セミナー」および
福岡県主催「ICT活用モデル園視察セミナー」で講師として登壇している。



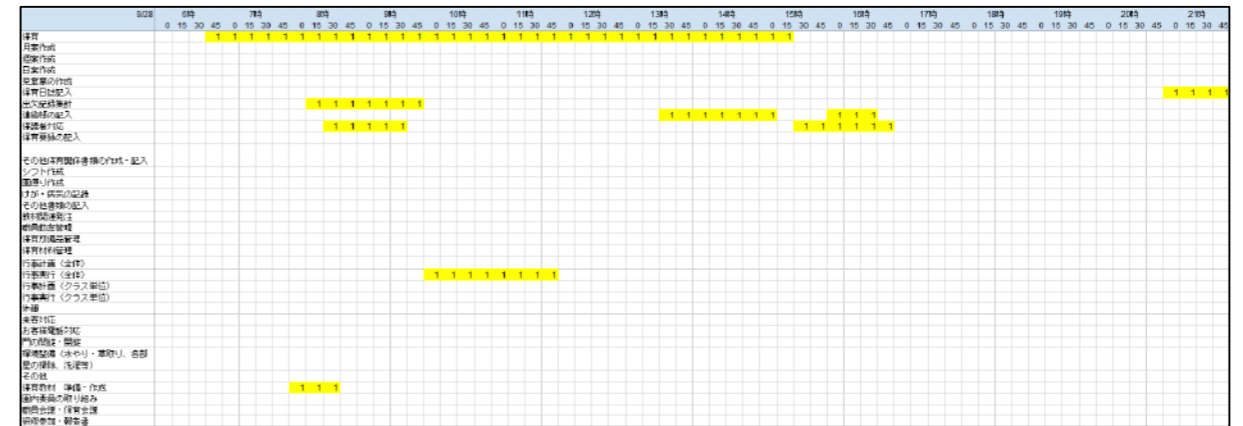
**社会福祉法人子育ての里福祉会
副主任 内海千鶴 氏**

保育士を経て現在、副主任3年目。主任の補佐をしながら職員の相談役を務める。保育園の行事や活動時にはリーダーとして取りまとめを行う。働き方改革のプロジェクトのリーダーとして、園の働き方改革を推進している。

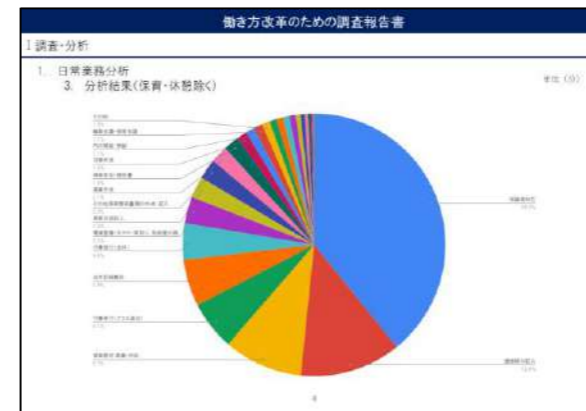
業務改善の取り組み

〇現状の確認

初めに園にどんな課題があるか調査することからスタートしました。アンケートによる調査を株式会社船井総合研究所に行ってもらい、業務状況の数値化・グラフ化をして園の課題を見える化しました。



※上記は調査アンケート結果の一部になります。



※上記は調査結果の一部になります。

結果として持ち帰り業務が発生していること、その要因として書類仕事や行事の制作物などがあることが分かったため、業務改善を行うことでその課題解決を図ることにしました。

(保護者対応が一番業務負荷の強い業務ではありましたが、保護者対応自体は時間をかけて対応したいという園の方針があるため、改善の検討からは外しました。)

〇働き方改革チームの結成・方針発表会の実施

まず初めに働き方改革チームを結成したうえで、職員全員に、園として働き方改革に挑戦することを周知しました。働き方改革においては職員全員が当事者意識を持って取り組む必要があるため、職員の皆様が同じ方呼応に向くためにこれらを実施しました。



※上記は方針発表の際に使用した資料の一部になります。

福岡県保育士が働き続けられる職場環境事業への挑戦

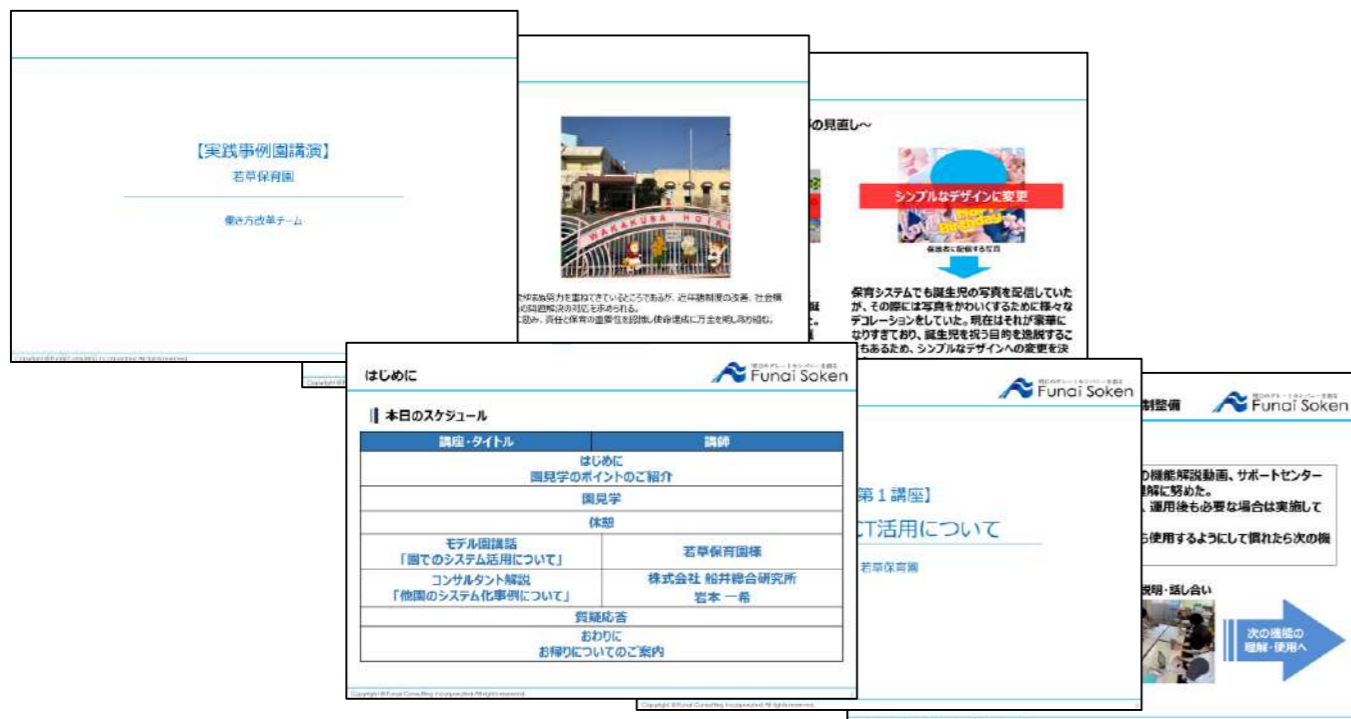
2022年度当初、「園舎の建て替えを控えていること」「認定こども園に移行するかどうか検討中であること」「ここ数年、新任保育士が多く入ってきていること」など、園として、法人として大きな変革期にありました。そこで職員の負担を少しでも減らせればと思い、働き方改革に興味を持っていました。

そんな状況の中、福岡県より「保育士が働き続けられる職場環境事業」の一環として、働き方改革に取り組む園を募集する案内を見て、独自ですすめていくことはとても困難だと思っていたこと、アドバイザーの方がいらっしゃること、その2点を理由に事業に申し込みをさせていただきました。

当初、当園では持ち帰り業務の発生などが課題としてあり、株式会社船井総合研究所の専門のコンサルタントからアドバイスをいただきながらその改善に向けて動き出していきました。

福岡県働き方改革モデル園に

取り組みの結果を評価され、福岡県から働き方改革のモデル園に認定され、セミナーで講演をしたり、視察先にも選ばれたりしました。



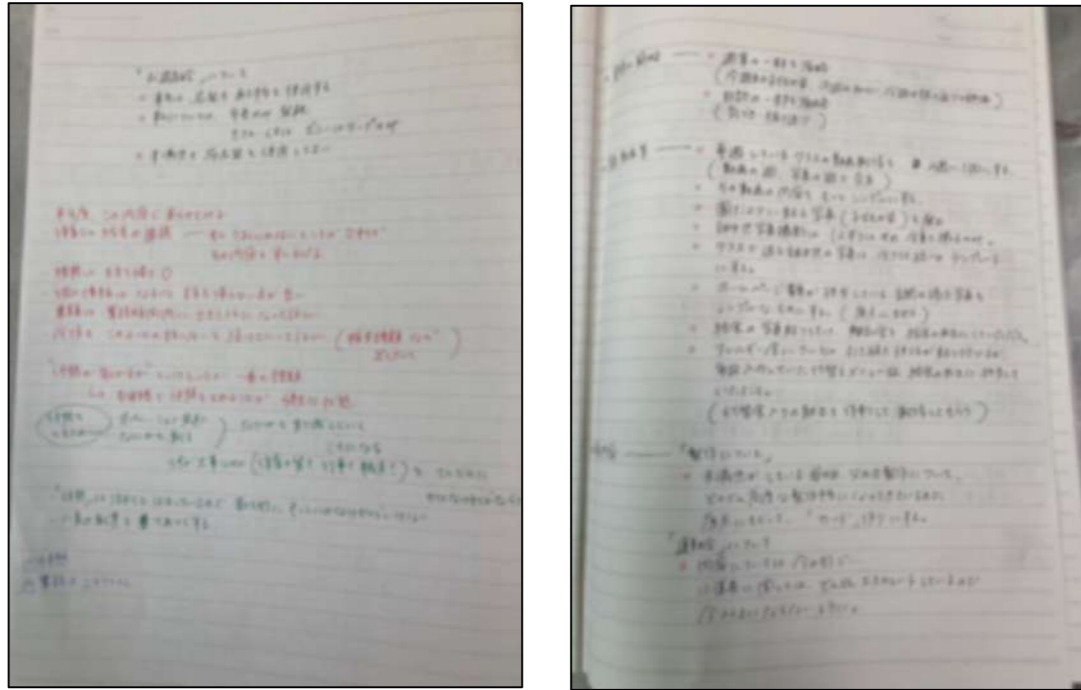
※上記はセミナーや実地見学会で使用した資料の一部になります。

社会福祉法人子育ての里福社会取材レポート

業務改善の取り組み

○改善事項の検討

方針発表を終えた後は、まずどんな業務が発生しているかを棚卸・整理し、1つ1つの業務について職員全員で改善事項を洗い出し、チームで具体的な改善方法を検討して改善につなげました。



※改善事項を検討した際の記録

○具体的な改善事項（掲示物業務の省力化）

具体的な改善事項を一部ご紹介いたします。

当園では、保護者へ園の様子を伝えるために玄関に写真主体の掲示物を掲示していたのですが、年々装飾が豪華になり、作業時間が長くなっていました。

この掲示物業務の時間削減ができないかチーム中心に検討していたところ、この掲示物の目的は、保護者に園の様子を伝えることが目的であるという点に着目し、写真主体の掲示物で十分保護者に園の様子を伝えられると考えたため、過度な装飾をなくし、シンプルな掲示物へ変更しました。

しばらくはこの状態で運用していましたが、保育システム「ゴドモン」の機能にある保育ドキュメンテーションを使用して、この機能を使って作成した画面を印刷することで、そのまま掲示物にできるのではないかと意見が職員から挙がり、さらなる改善として、玄関の掲示物を保育ドキュメンテーションに変更しました。

最終的には、玄関の掲示物作成にあたり、ほぼ印刷・掲示の作業しか行わなくなったため、大幅な業務改善につなげることができました。



○具体的な改善事項（ノンコンタクトタイムの実施）

当園では、保育の時間から離れて事務作業をする、いわゆるノンコンタクトタイムを導入できないか検討していました。

特に毎日記入する日誌（保育ドキュメンテーション）を書く時間を作れないかと意見が上がり、居残り保育の開始時間を少し早め、配置人数に余剰を生み出すことで、ノンコンタクトタイムの確保に成功しました。日誌の記入は居残り保育を行っていない空いたクラスを活用しています。

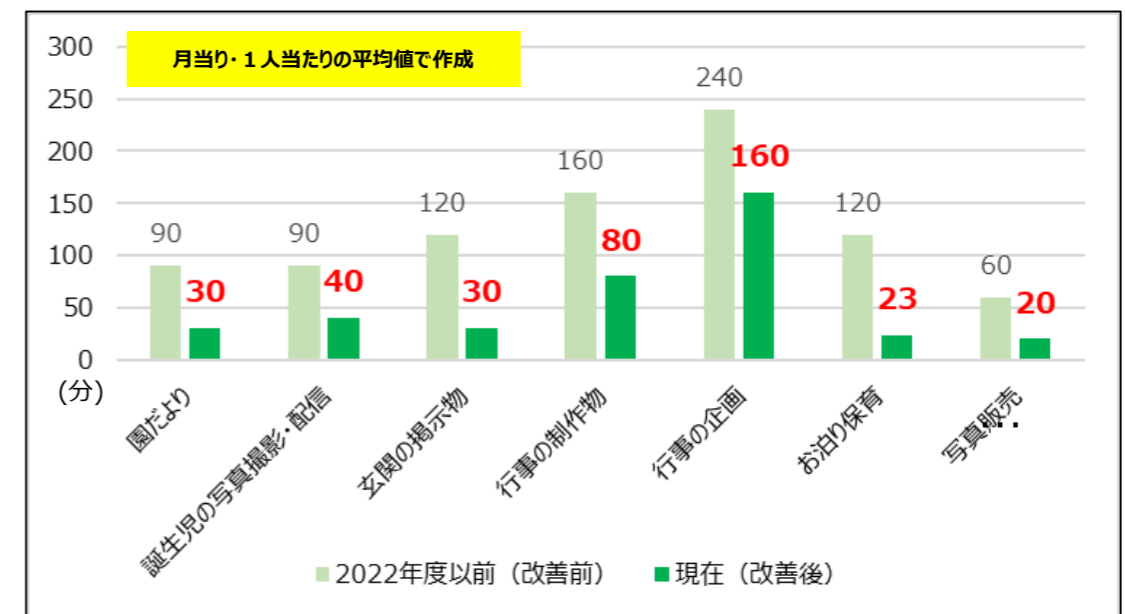
居残り保育の時間を早めての導入であったため、基本的にはノンコンタクトタイムが取れないという事態は起こらず、安定して毎日ノンコンタクトタイムの時間を確保しています。

完全に保育から離れて記入ができるようになったため、職員の皆さんから集中して日誌を作れるようになったと好評です。



取り組みの成果

業務改善の取り組みを通して、先ほどご紹介したように、ノンコンタクトタイムの実現はもちろん、業務時間30%の削減を実現することができました。



※改善事項の一部をグラフィ化しています。

一方で、まだまだ当園も業務改善をやり切ったとは思っておりません。今後もこの取り組みは継続していき、よりよい園づくりを目指していきたいと思っています。

セミナー当日ではそのほかに改善できた事例などをお伝えし、少しでも皆様の参考になればと思っています。ぜひご参加ください！

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 岩本一希

認可保育園の運営安定化サポートや企業主導型保育園（各種申請サポートや監査対策サポート、園児募集、採用、働き方改革など）を行う。
近年では行政と連携して認可保育園の働き方改革や待機児童対策、家庭的保育事業の推進サポートも行う。



◆主な講演実績

- ・福岡県主催「職場環境改善実践セミナー」（R4年度・R5年度）
- ・福岡県主催「ICT活用モデル園視察セミナー」（R5年度）
- ・鹿児島県主催「安心して働き続けられる職場づくりセミナー」（R5年度）
- ・神奈川県主催「働き方改革説明会」（R4年度）
- ・東京都葛飾区主催「施設長向け処遇改善等加算セミナー」（R4年度） 等

皆さま、こんにちは！

本レポートをここまでお読みいただき、誠にありがとうございました。

私、株式会社船井総合研究所 子育て支援部 岩本一希と申します。

主に保育園やこども園の職場環境改善をテーマに、全国でコンサルティングをさせていただいています。今回レポートで紹介した子育ての里福社会へもコンサルティングをさせていただきました。

みなさま社会福祉法人子育ての里福社会の取材レポートはいかがでしたでしょうか。ご参考になる点多かったのではないかと思います。

コンサルティングをしていく中で、子育ての里福社会やそのほか全国の保育園・こども園の中で、業務改善に成功している保育園には共通した法則・秘訣がございました。

私からはその点を解説させていただきます。

セミナーでは、より詳細なポイント解説や、全国の保育園・こども園の優良事例をお伝えさせていただく予定です。ぜひセミナーにもご参加ください！

Point① 課題の発見

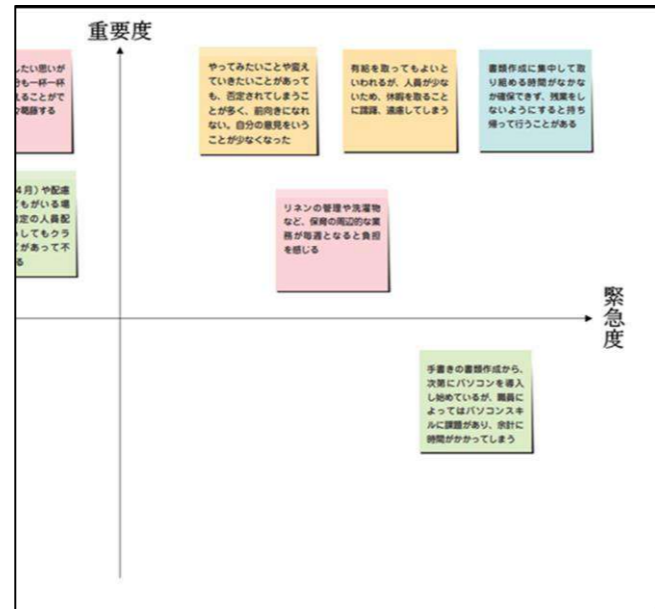
業務改善をするにあたってやみくもになっても、効果的な成果は得られません。

見当違いな改善をしてしまうと、保育の質が下がってしまったり、改善をした結果逆に業務が圧迫されてしまったり、施策が机上の空論になってしまうこともあります。

園にはどんな課題があるのか、その課題はなぜ発生しているのか、きちんと整理していくことが、業務改善を行う上ではまず重要になります。

今回子育ての里福社会は、一番最初はアンケートによる調査を実施していましたが、それ以外にも会議による課題の抽出方法もございます。

それぞれメリットデメリットがございますので、園に合う調査方式を採用してください。



厚生労働省「保育分野の業務負担軽減・業務の再構築のためのガイドライン」: <https://www.mhlw.go.jp/content/000763301.pdf> をもとに作成

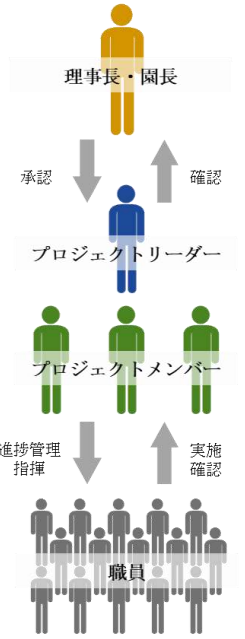
Point② トップが旗を振り、職員主体で取り組む

こうした取り組みがうまくいく園では「トップが旗を振り」つつ、「職員一人ひとりが同じ方向・目標に向かって一致団結」できておりました。

社会福祉法人子育ての里福社会は、職員への周知を行いつつ、右の図のように、働き方改革チームの結成・全職員参加型の検討を行ったことが成功につながっています。

一方で、組織として一致団結した体制が取れないと、具体的にいえば、理事長や園長がメインで行うような場合は、満足のかない結果になることが多いです。現場の協力が得られにくいためになります。

園の業務改善に取り組む際には、右の図のように、そして子育ての里福社会のように、「職員主体で取り組める」体制を整備していただくようお願いします。



Point③ 目的と照らし合わせる

そのような体制で、課題のある業務が発見できたら、改善を検討するにあたって、その業務の業務目的は何なのかをぜひディスカッションしてみてください。

例えば、子育ての里福社会の掲示物の改善例では、掲示物の目的を保護者へ園の様子を伝えるものと結論付け、装飾を豪華にする必要はないという議論に発展できました。

施策検討の際にはぜひそのような視点をもって取り組んでいただければと思います。

本セミナーでは、お伝えしきれなかった育ての里福社会からの取り組み事例の共有や、全国の保育園を見てきたからこそわかるポイントや優良事例をお伝えいたします！

現在、法人・園で下記に1つでも当てはまる方は、ぜひ本セミナーへの参加をご検討ください。

- ☑ 毎年保育士の採用に悩んでいる
- ☑ せっかく採用した保育士がすぐに辞めてしまう
- ☑ 職員が数年で離職してしまい、中堅職員がいない
- ☑ 保育園の業務改善をしていきたいと考えているが、何から手を付けてよいかわからない
- ☑ 保育園の業務改善に着手したがうまくいかなかった
- ☑ 指示がうまく伝わらず、確認・修正のやりとりが頻発する
- ☑ よく質問を受けていて自身orその職員の業務が進まず残業・持ち帰りになる
- ☑ 他の保育園の業務改善事例を知りたい
- ☑ 職員が満足して働ける魅力ある園にしたいと考えている

本セミナーでお伝えする全国の保育園・こども園の業務改善優良事例

- | | | |
|-------------------|-----------------|-------------------|
| ①課題発見方法（アンケート・会議） | ⑦行事内容の見直し事例 | ⑬AI活用事例 |
| ②職員周知のポイント | ⑧制作物の見直し事例 | ⑭ヘルプボードの活用事例 |
| ③働き方改革チーム結成のポイント | ⑨職務分掌の作成事例 | ⑮休憩時間確保のための取り組み事例 |
| ④改善案を検討する上でのポイント | ⑩工程表の作成事例 | ⑯保育補助の活用事例 |
| ⑤書類業務の見直し事例 | ⑪定型業務マニュアルの作成事例 | ⑰ペーパーレス化事例 |
| ⑥職員会議の短縮事例 | ⑫ICTの活用事例 | ⑱残業を出さない職員体制 等 |

園の業務改善に向けて実施すべき施策が見つかります！

セミナーのお申し込みは裏表紙から